

橋本建設 創業100周年迎え記念祝賀会

橋本建設（小国町、渡邊建英社長）の創業100周年記念祝賀会が19日、熊本ホテルキャッスルで開催された。多数の来賓をはじめ、協力会の建修会、同社社員とその家族ら総勢約240人が参集し、100年の節目を盛大に祝った。

渡邊社長は「皆様のご支援、ご協力により、今日という日を迎えることが出来た」と関係者に感謝し、今後に向けては

建設一路の精神で 創業100周年迎え記念祝賀会

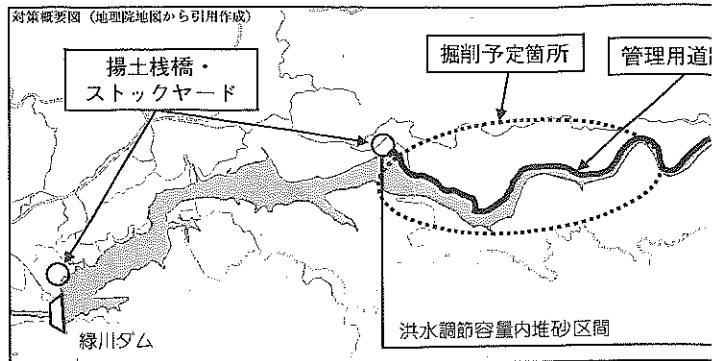
「100年企業としてのプライドと建設一路の精神を持って、安心・安全な建物造りに邁進し、地域社会の発展に貢献していく」と決意を述べた。

来賓からは「今後も熊本の本建築業界を引っ張ってほしい」（坂本哲志農林水産大臣）、「社員の皆さんとともに150年、200年と歩みを進めていきたい」（大西一史熊本市長）、「小国町のまちづくりには欠かせない存在」（渡邊誠次小国町長）などお祝いの言葉が贈られた。

乾杯の音頭を取った熊本県建築協会の鐵谷浩之会長（豊工務店）は「地域に根付き、紡いできた100年の歴史に敬意を表したい。一層の発展を祈念する」と挨拶し、祝宴に入った。

同社は1923（大正12）年に個人請負となる橋本建築を創業。67（昭和42）年に商号を株式会社橋本建設に変更するとともに、小国町に本店を構える。県内の公共施設や学校、医療・福祉施設、商業・宿泊施設など、大型物件の建築を数多く手

国交省 緑川ダム リフレッシュ事業



震に加え、近年の激甚化・頻発化する豪雨災害等によって、計画を上回るペースで土砂が流入し堆砂が進行。2023年度時点（治水開始から53年）で、計画堆砂量（1000年間）の約9割に達しており、貯水機能への影響が懸念されている。

事業では、貯水池機能の回復を目指し、堆砂を集中的に掘削するほか、中長期的な維持管理の効率化を図るため、揚土施設の整備も計画する。掘削対象となる洪水調節容量内の堆砂量は、23年度

美里町大井早の大福橋周辺から上流に向かって約3キロを予定。付随する施設として、土砂搬出のための管理用道路や、土砂ストックヤード・揚土棧橋等も検討する。照。

今年度は予算額4000万円を計上しており、掘削と揚土施設的设计を進める。管理所の吉永勝彦所長は「掘削から搬出、堆砂の利活用も含めて、効果的で効率的な手法を模索し、持続可能なダム管理に繋げていきたい」と話している。

ツ施設整備に関する調査業務の一企画コンペを公告した。委託限度額は500万円（税込）。8月9日まで参加者を募る。県のスポーツ施設は建設から数十年経過しているものも多く、老朽化や交通アクセス等の課題を抱えている。業務では、アリーナ、野球場、武道館、スタジアム（県民総合運動公園陸上競技場）の4施設について、民間事業者主体による整備手法や整備・運営コスト、事業主体等を調査する。履行期間は2025年3月

長大を特定 熊本市の給食施設基本構想

学校給食施設整備第1期基本構想策定業務委託の公募型プロポーザルを実施していた熊本市は、契約候補者に長大を特定した。施設整備数と規模を複数パターン検討し、建設予定地や事業スケジュール、概算事業費、事業効果などをまとめる。履行期限は2025年3月31日。

暑中お見舞い申し上げます

創造と挑戦

株式会社 **岩永組**

代表取締役社長 岩永一宏

本社 熊本市中央区南熊本4-8-32
TEL 096・372・3333
FAX 096・372・3600

URL
<http://www.i-gumi.co.jp>
営業所=福岡



総合建設業

株

2024年度

興亜

おかげさまで

KUMANO G

OGAMI construction inc.

総合土木建築の企画設計施工